

日本学術会議・経済学委員会
第24期・第1回議事要旨

開催日時：2017年10月4日（水）、10:00-11:00

場所：日本学術会議事務局 5-B会議室（5階）

出席者(敬称略)：北村、岡崎、黒崎、溝端、大野（5名）

（1）役員の選出

委員長：北村、副委員長：溝端、幹事：永瀬、黒崎を選出した。

（2）分科会の設置・委員の決定（期首に設置）

本委員会には直接関係ないため、参考として資料2を参照した。

（3）分科会世話人の決定

以下のように世話人を決定した：

IEA 分科会：西條

IEHA 分科会：岡崎

人口変動と経済分科会：（23期にて終了）

ワーク・ライフ・バランス研究分科会：永瀬

数量的経済・政策分析分科会：北村

持続的発展のための制度設計分科会：井伊

国際開発研究分科会：黒崎（23期にて地域研究委員会の下で行われた「国際地域開発研究分科会」の継続分科会）

フューチャー・デザイン分科会：西條

各世話人は、早急に分科会設置の提案書を作成・提出されたい。分科会が発足するに当たっては、委員長を含め、分科会の運営役（委員長、副委員長、幹事）は会員に限られないことを確認した。連携会員を有効に動員されたい。

（4）その他

23期からの申し送り事項として、(1)3年後に会員・連携会員の推薦をする際に、委員会・分科会の活動を継続・発展させるための配慮が必要であること、(2)他の学協団体や国際学会との連携を強める必要があること、(3)文部科学省における学術研究の大型プロジェクトの推進方策に沿い、経済学委員会が中心になったマスタープランの作成・提出を継続することが有用と思われること、を確認した。

次回の会議は、学術会議の全体会議が開かれる2018年4月上旬を予定する。

以上